

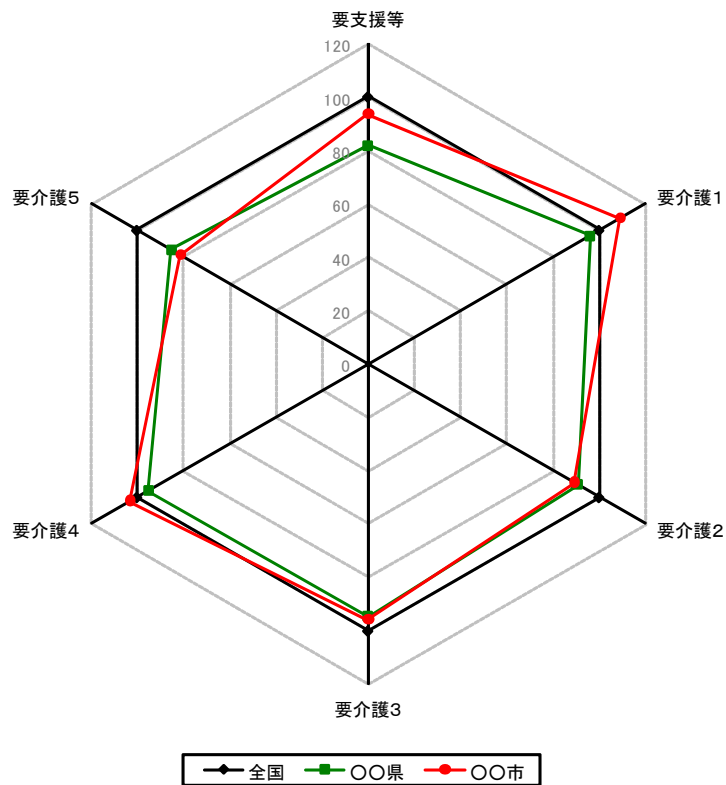
介護政策評価支援システムの 活用について

1. 介護保険事業計画策定等に利用

- ▶ 介護政策評価支援システムを活用することにより、現在の状況を確認できることから、今後の方向性を定めることが可能となる。次ページ以下に具体的なイメージをいくつか示す。(図はイメージであり、実際のシステムとは異なることがある。)
- ▶ (1) 認定率のバランス分析
- ▶ (2) サービス利用のバランス分析
- ▶ (3) サービスのトータルバランス分析
(施設・在宅バランス)
- ▶ (4) 保険給付と保険料のバランス分析
- ▶ 等
- ▶ 他にも分析指標が揃えてあるため、多面的な分析が可能となっている。

(1) 認定率のバランス分析

指標B 第1号被保険者の要介護度別認定率指数(全国平均=100)(平成21年04月)



- ▶ 全国や都道府県の平均と比べた認定率の状況を確認できる。(後期高齢者の割合が高いために認定率が高くなる影響を除いた指標で比較ができる)。



- ▶ 例えば要介護度が高い場合で、地域特性や政策等の合理的理由がない場合には、このデータを根拠として計画に介護予防事業の充実やサービス提供体制の変更を盛り込む等といった利用方法がある。